

郷音

山形県立産業技術短期大学校庄内校

【きょうおん】

ふるさとの言葉づかい
国なまりという意。

SHONAI COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY



【教育振興会会報】 令和7年10月31日発行

第38号



10月11、12日栃木県の「モビリティリゾートもてぎ」にて開催された、Honda エコマイレージチャレンジ2025 全国大会に参加しました。生産エンジニアリング科では「モノづくり」の難しさ、楽しさを経験させることを目的に、2010年よりHonda エコマイレージチャレンジ全国大会に参加しています。

この大会は自作の一人乗りフレーム(車体)にホンダ製4サイクル50ccエンジンを載せ、「1リットルのガソリンで何キロ走れるか」を競い合います。当校は大学・短大・高専・専門学校クラス（ハイオクガソリン）で参加しました。1日目（練習走行日）は台風の影響と思われる雨の影響で走行中止になりました。練習走行日でデータ収集を行って決勝に挑むのですが、決勝は一発勝負になってしまいました。2日目（決勝日）は天候も回復し予定通りの日程で行われました。結果は25台のエントリー中、完走10台で当校は339.984kmという記録で6位になりました。

目次

ごあいさつ、夢と希望に燃える令和7年度入学生	P1
ごあいさつ（庄内校 校長）	P2
会員企業のご紹介	P3
各学科の教育活動・PR	P4～5
企業実習（体験記）	P6
卒業研究発表会テーマ一覧	P7～8

ゼミナールのポスターセッション	P8
令和6年度進路状況、就職先企業のご紹介、 受賞に輝く卒業生	P9
令和8年度学生募集、 応援メッセージ寄稿のお願い	P10
新任教職員等紹介	P11



ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校
教育振興会 会長 加藤 聡

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、産業技術の高度化・多様化に対応できる人材を庄内地域で育成してほしいという、私たち地元産業界の強い要請に答え、平成9年に開校しました。以来、卒業生は1,000名を超え、その多くが県内、特に庄内地域の企業に就職し、即戦力として地域産業を支えています。

このように、庄内校は地元企業にとって掛け替えのない人材育成機関であり、卒業後に地域振興の担い手として活躍されることを大いに期待しているところです。

近年、全国的に技能人材の不足が深刻化しており、また、今年5月には山形県の推計人口が100万人を割るなど、労働力人口の減少は当地域においても大きな課題となっております。こうした状況の中、地域に根ざした人材育成機関として、庄内校の役割はますます重要になっております。

当教育振興会といたしましては、学生の地元定着に寄与するよう、企業実習や校外学習などの実践的な教育活動への支援や地元企業との交流・連携をさらに推進して参りたいと存じますので、会員の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、当会のさらなる発展と皆様の御健勝、御活躍を心より祈念いたします。

夢と希望に燃える令和7年度入学生



生産エンジニアリング科 阿部 悠翔

高校で工業コースを選択し学んできた機械加工などの経験を生かし、より専門的な知識を身につけたいと思い産技短の生産エンジニアリング科に進学しました。入学当初は授業についていけるか不安もありましたが、先生方の丁寧な指導で安心して学ぶことができました。これからの2年間で多くの資格を取得し、就職活動に活かしていきたいです。



情報通信システム科 佐藤 蓮音

私は、将来、情報通信分野に関する職業に就きたいと思い、情報通信システム科に入学しました。専門分野については、初学者ですが、いつでも使える学習環境と先生方のアドバイスを受けながら、自分の知識と技術を着実に高めていきたいと思っています。特に資格については、積極的にチャレンジし、情報処理技術者試験合格を目指します。

また、学校行事などを通して、学科を超えて交友関係を広げたいです。二年という短い期間ですが、しっかりと目標を定め、地域に貢献できるシステムエンジニアを目指して頑張ります。



IT会計ビジネス科 石山 凜

私は、高校で学んだ知識・技術をより発展させ、地域に貢献できるような人材になりたいと思い入学しました。当校の特色でもある少人数教育のおかげで、授業でわからないところがあっても、先生に聞きやすい環境です。わからないところをわからないままにしないことで、より意欲的に学習に取り組むことができます。

また、校外学習などに行くこともあり、より地元を詳しく知り、地域の特徴を学ぶことができます。二年間という短い期間ですが、悔いがないように様々な資格の習得に勤しみ、就職活動で活かせるように頑張りたいと思います。



ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校
校長 佐藤 俊一

教育振興会の皆様には、日ごろ当産業技術短期大学校庄内校の学校運営、教育・訓練活動、そして就職活動等広くご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、校務、授業共に今年度も順調に推移しております。3月には3学科32人の卒業生を送り出しました。就職希望者は全員の就職先が決定し、めでたく社会人の仲間入りをしております。うち25人が県内就職です。当会の皆様にも、是非温かい目で見守り、育てていただければ幸いです。4月には、35人の新入生を迎えました。ここ3年間で一番数は多いのですが、定員が60人ですのでまだまだ入学者確保の課題は小さからぬものがあります。学生確保に向けさらなる努力を重ねてまいりたいと思います。

去る7月9日には、当教育振興会の加藤聡会長に、全校学生向けにご講演をいただきました。創業100年の老舗企業を率いながらも、洋上風力発電という最先端のビッグプロジェクトを手がけられたお話しから地域振興、趣味や生き方に渡る実に幅広い分野のお話しを、興味深くまた楽しく拝聴させていただきました。会場には教育振興会の皆様始め一般の方も数多く詰めかけられ、学生と共に有意義な時間を過ごすことができました。次回の一般開放特別講座は、11月26日(水)午後1時から酒田市の安川智之副市長を講師に開催いたしますので、皆様にもご参加いただけますと幸いです。

さて、帝国データバンクの調査によると、正社員が不足していると答えた企業の割合が今年7月時点で50.8%と過半数に達し、7月としては3年連続の半数超え、高止まりの様相を呈しております。こうした中、企業としてのアウトプットを維持・向上していくためには、デジタルなどの高度先端技術による生産性の向上が急務です。そう考えますと、当校のように「実践的技術者」の育成を目指す教育機関は、かつてない重要な局面を迎えていることに思い至り身が引き締まります。

山形県の人口が100万人を割ったというニュースが、新年度早々県内を駆け巡りました。地域の活力ということを考える上でも、極めて厳しい時代に入ったことを否が応にも認識させられます。せめてもの救いは、実質県民総生産（県GDP）はこの中にあっても増加傾向だということです。ここは、「技術」の力をもって一気に生産性の向上に拍車をかけたいところです。

一方、激甚化、頻発する大規模自然災害や熊の出没などによる鳥獣被害も大きな社会問題になっておりますが、その発生予測から避難等情報の提供、発生後の対応、復旧復興などに関しても、「技術」の果たす役割は日増しに増大していることを実感します。最近の学生たちの卒業研究のテーマを見ると、こういった社会課題を取り上げたものが増えてきており、頼もしく感じております。会員企業・事業所の皆様にも、本校との共同研究にご協力いただければ大変ありがたいと存じます。

結びに、教育振興会の今後一層のご発展を祈念し、当校への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

会員企業紹介



おかげさまで、東北電機鉄工株式会社は 設立 80 周年 を迎えました。
これまで支えてくださった皆さまへの感謝を胸に、これからも“ものづくり”を通じて地域と未来に
貢献してまいります。

■会社概要

所在地 山形県酒田市大浜一丁目 4 番 57 号
設 立 昭和 20 年 11 月 30 日
代表者 代表取締役 瀬尾 郁矢
資本金 2 億円
従業員 160 名
営業所 東京支店、山形支店、鶴岡支店、新庄営業所、米沢営業所、
富山事業所、埼玉工場



80周年のマーク

■業務内容

- ・プラントの建設及び機械設備工事、産業機械の設計製作及び設置
- ・大型容器設計製作及び設置。タンクローリー車のタンク製作及び架装
- ・電機計装設備工事、建築機械設備工事、プラント関連のメンテナンス業務

■庄内校卒業生の活躍

経営管理室 Sさん（2025 年入社）

1. 現在の仕事内容

経営管理室という部署で経理事務を担当しています。仕事内容は主に債権管理、現預金管理、伝票処理等を行っています。簿記の知識や正確性が特に必要になる業務であり、日々緊張感を持ちながら取り組んでいます。社会人一年目でまだまだ至らぬ点ばかりですが、上司、先輩方からの確なご指導やアドバイスを頂きながら多くの知識を学び、日々業務に励んでいます。

2. 仕事のやりがい

日常業務をミスなく無事に終わることが出来た時や、四半期決算など忙しい時期を乗り切る事が出来た後は大きな達成感があります。また、座学だけではなく、実務を通さなければなかなか身に着けることが難しい経理の専門知識やスキルを学ぶことが出来た時にはスキルアップを実感するなど、様々な場面でやりがいを強く感じています。

3. 学生時代学んだことがどのように役に立っているか

学校で学んだ簿記やビジネスマナーの知識はもちろん、学生生活で培ったコミュニケーション能力も非常に役立っています。また、目指していた職種に関連しないと思っていた学習内容も役立っています。例を挙げると、ホームページ作成の学習をしていた事がきっかけで、ホームページに関連したプロジェクトのメンバーに選んで頂きました。どんな授業でも意欲を持って取り組むことが重要だと強く実感しました。



設計課 Aさん（2024 年入社）

1. 現在の仕事内容

私が所属する東北電機鉄工の工機本部は、設計から製作、据付までを一貫して自社で行っている部門です。その中で私は、設計業務を担当しています。これまでに、大型容器や配管、工場内の足場などの設計を手がけてきました。まだまだ未熟な点も多いですが、先輩や上司の方々のご指導のもと、日々知識と技術を身につけながら業務に取り組んでいます。

2. 仕事のやりがい

自分が作成した図面をもとに製品が製作され、現場に据え付けられます。そのため、図面にミスがあると製作段階で不具合が生じたり、現場で取り付けができなかったり、お客様の要望通りの製品とならない可能性があります。そうした緊張感のある中で図面を完成させ、無事にミスなく製品が据え付けられたときには、大きな達成感があり、この仕事のやりがいを強く感じます。

3. 学生時代学んだことがどのように役に立っているか

最近、当社に 3DCAD が導入されましたが、操作に慣れている社員はまだ少ない状況です。そこで、授業で操作経験のある産技短の卒業生である先輩方と協力しながら、早期の実用化に向けて積極的に練習に取り組んでいます。産技短で学んだ知識や経験が、会社の技術向上に貢献できていることをとても嬉しく感じています。



各学科の教育活動・PR

生産エンジニアリング科

会員の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。令和6年度も、開校以来継続している就職率100%を達成することができました。令和7年度についても6月末までに全員が内定をいただくことができ、これもひとえに皆さまのご支援の賜物と深く感謝しております。卒業生が、皆さまのもとで活躍する人材へと成長していくことを願っております。

対外活動では、昨年度に続き、今年度も若年者ものづくり競技大会（フライス盤職種）に2年生1名が参加しました。4月から大会前まで、放課後と夏休みに練習を重ねてまいりました。惜しくも受賞には至りませんでした。大会に向けた努力と経験が、今後の職業人生に活かされることを期待しております。

また、今年度も多くの学生が夏休みを利用して練習に励み、技能検定に挑戦しました。結果は、合格・科目合格・不合格と様々でしたが、暑い夏の努力の記憶が今後の糧となり、後期や次年度の再挑戦への意欲につながることを願っております。

1年生は後期に企業見学ツアーを予定しており、10月からは就活セミナー、11月には企業実習と、就職を見据えた多くのイベントが実施されます。振興会企業の皆さまには、学生がお世話になる機会がさらに増えることと思います。これらの行事へのご協力に感謝申し上げますとともに、学生との交流の場としてご活用いただければ幸いです。

2年生は、課題実習で取り組んできたFA装置を鶴岡大産業まつりにて展示し、今年度の課題設計にも取り組んでいます。並行して卒業研究も本格的に始まりました。あらかじめ答えが用意された課題ではなく、自ら目標を設定し、進め方を模索しながら取り組む課題解決のプロセスを通じて、広い視野と、発生するトラブルに対して柔軟に対応する力を養い、将来の産業人としての成長につながることを期待しております。

最後に、改めまして会員企業の皆さまには、日頃のご支援に深く感謝申し上げます。今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

情報通信システム科

教育振興会会員企業の皆様には、日頃より様々なご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。令和6年度卒業生も多くの学生が地元企業に内定をいただきました。これも会員企業の皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

当科は、高校の情報系学科出身者が所属する実践コース、普通科や総合学科出身者を中心とした基礎コースに分かれております。1年の実践コース生は、入学後半年間で基本情報技術者試験に2名合格し、さらに合格者が増えるよう指導を進めており、さらに上位の資格合格を目指す学生もおります。また、技能五輪「IT ネットワークシステム管理」職種選考会に挑戦し、サーバやネットワーク機器を駆使したシステム構築に挑戦しております。基礎コースの学生も、入学後半年間でITパスポートに合格し、さらなる能力向上を目指して、実践コース生に変更となった学生が複数名おります。今後実習科目が増え、学習内容も難しくなっていきますが、学生自身がそれぞれの学習目標をもち、学校生活を送っています。

1年前期に実施する「産業人材論Ⅰ」では、教育振興会会員企業の皆様にご協力いただき、講師として地域の産業や技術者像について講義いただきました。さらに、東京への校外学習への支援、企業実習や会社見学のご協力をいただくなど、様々な場面で会員企業の皆様にご支援いただいておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

2年生は、これまでは日々の実習と並行して就職活動と多忙な毎日を過ごしておりましたが、10月以降は、卒業研究の完成に向け、日々努力を重ねております。卒業研究を通じて、技術力向上はもちろんのことですが、コミュニケーション力や実践力の向上をはかり、庄内地域で急速に進むデジタル技術の進展に対応できる人材の育成に取り組んでいきます。

今後も、教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

IT会計ビジネス科

平素より当科の教育活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。この度は令和6年度の資格試験の合格実績を報告させていただきます。

企業会計分野におきましては、日商簿記検定2級に3名が合格しております。

日商簿記検定2級は連結会計を含む商業簿記に加え、工業簿記(原価計算)分野も出題範囲に含まれるなど企業会計に関して幅広い知識・スキルを身に付けることが出来る内容となっており、企業からの評価が非常に高い試験です。

当科では年3回実施のペーパー試験のみならず、毎月1度実施されるネット試験も有効活用し、複数の合格者を輩出することができました。

ビジネス情報分野におきましては、日商PC検定2級に累計で21名が合格いたしました。

日商PC検定は「文書作成」、「データ活用」、「プレゼン資料作成」の3分野について独立した試験として実施されており、2級は、企業実務に必要とされる実践的なIT・ネットワークの知識・スキルを有し、部門責任者(部門責任者を補佐する者)として、業務の効率・円滑化、業績向上を図るうえで活用することができるレベル、とされております。

さらに、地域の産業構造に対応し、新設した医療ビジネス分野におきましても2名の学生が「医療事務技能審査試験」に合格し、メディカル・クラーク®(医科)に認定されました。

メディカル・クラーク®(医科)は、診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる能力を備えていることを証明する資格とされております。

今年度も引き続き有用な人材を地元産業界に供給できるよう学生を指導していくとともに、教育振興会会員企業様をはじめとする地元企業の皆さまや地元の各組織・団体の皆さまと緊密に連携し、地域の課題に向き合ってまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般開放特別講話を実施しています。 (どなたでも参加聴講できます)

本校では令和6年度から、特別講話と題して年3回、学生と一緒に一般の方どなたでも参加できる講話を実施しております。このうち2回は、産業界や地域で活躍している方を講師にお招きして、時代を生き抜く知恵をお聴きしています。

今年の7月9日(水)には、加藤総業株式会社代表取締役社長で酒田商工会議所会頭の加藤聡様から、「創業100年の会社を引き継いだ僕の人生」と題して講話をいただきました。

当日は、学生以外にもたくさんの方に参加をいただきました。

これまで地域とともに歩み、これからも地域とともに進み続ける加藤社長の熱い気持ちが伝わる講話に、学生や参加者の方々は皆、引き込まれるように聞き入っていました。学生にとってとてもいい有意義なものとなりました。

今年度はもう1回、11月26日(水)に、酒田市安川智之副市長から講話をいただきます。事前申込などはありませんので、ぜひ多くの方に聞きに来ていただければと存じます。



企業実習

昨年度の実績から

学生が企業社会の実情に触れ、職業人としての自覚と学習意識の向上を図るため、3学科の1年生全員を対象に11月から2月にかけて企業の皆様のご協力を得て、企業実習を実施しました。

実習先：オリエンタルモーター株式会社 様 生産エンジニアリング科2年 高橋 優太

私は、オリエンタルモーター株式会社に5日間企業実習に行かせていただきました。実習内容はロボットアームの爪の設計・製作をさせていただきました。自分で考えた爪の形を3DCADでモデリングをして3Dプリンターで印刷をして試してみると想像していた感じにはなりません。上手くいかなかった原因を考えモデリングをなおしてうまく動作することが出来ました。最終日に実習してきた内容について社員の方の前で発表をしました。

オリエンタルモーター株式会社様は、会社の雰囲気明るく社員の皆さんが優しかったので楽しく実習することが出来ました。

今回、企業実習を引き受けてくださったオリエンタルモーター株式会社の皆さん5日間本当にありがとうございました。



(左：高橋優太)

実習先：株式会社日情システムソリューションズ 様 情報通信システム科2年 村上 怜奈

私は、株式会社日情システムソリューションズ様にて、システム技術部での業務を体験させていただきました。実習では「やまがた AI 部 AI 甲子園2024」の競技テーマを題材に、将棋の駒を数える AI モデルの改良に取り組みました。画像の前処理やパラメーター調整などの工夫を通して、AI 開発の流れを理解し、実践的な知識を身につけることができました。

また、職場の方々との交流や Zoom でのミーティング参加を通じて、システムエンジニアの仕事や社会人としての働き方を学ぶことができました。本校では学ぶ機会の少ない、実際の現場で必要とされる知識や姿勢を多くご教授いただき、大変貴重な経験となりました。

多忙の中、このような機会をくださった日情システムソリューションズ株式会社の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



実習先：遊佐町商工会 様 IT会計ビジネス科2年 安部 蹴斗

私は、遊佐町商工会で企業実習をさせていただきました。主にスタンプカードの集計、講演会の参加者名簿の作成などの業務を行いました。企業実習の中で職員の方の仕事を間近で見させていただき商工会が地域の企業を支えるとても重要な企業だと感じました。

今回の企業実習を通して、これからの社会で必要となるスキルを残りの学校生活で身に付け、これからの生活を有意義にしていこうと思いました。

遊佐町商工会の皆様には、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(紙面の都合上、受入れいただいた企業への感想等全てを掲載できなかったことをご容赦ください。)

令和6年度 卒業研究発表会『テーマ』一覧

令和7年2月20日、本校の大講義室等において、生産エンジニアリング科及び情報通信システム科の卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成として取り組んだテーマの要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は、指導教員にお問い合わせください。

なお、卒業研究発表会の発表動画は、令和7年3月17日（月）から令和7年6月30日（月）までオンデマンドで配信しました

生産エンジニアリング科

番号	テ ー マ	概 要	発表学生	指導教員
1	機械実習室用の掃除機構の開発	当校機械実習室（加工工場）の5S活動（清掃）の体験から、実習場特有の問題である、油汚れが多く、かつ切削キリコなどがある状況でも利用可能な掃除機型の清掃補助装置を考案した。また、実際に試作を行い、考案した清掃機構の評価を行った。	本間 悠太	新 居 徹 哉
2	不整地走行車両の製作	農耕地などの足元の条件の悪い路面で荷物運搬を目的とする作業用車両の製作を行う。今年は全方向の移動を可能とするためのスリップリングを製作する。	大 滝 悠 介	宮 下 智
3	ネットワークを用いた制御システムの製作	PLC によるシステムをタッチパネルを中心としたネットワークにより接続し、連携等を行い、統合的なシステムの構築を目指す。	伊 藤 佳 貴	佐 藤 義 則
4	若年者ものづくり競技大会フライス盤職種入賞へ向けた作業工程の改善	若年者ものづくり競技大会のフライス盤職種に参加した。練習方法や作業工程を改善し、次年度以降に参加する選手が入賞できるような取り組みを行う。	菅 原 亜 月	多 田 淳
5	エコラン競技車両の製作	本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ全国大会出場に向けた車両を製作（改善）する。今年度はエンジンのインジェクション化と新車両の設計を行う。	津 田 明 陽 神 林 孝 幸	津 田 勇

情報通信システム科

番号	テ ー マ	概 要	発表学生	指導教員
1	AI 技術を活用した XR システム基盤の構築と応用	AI や XR 技術を活用した取り組みは全国各地で盛んに行われているが、AI や XR 技術に関するノウハウを持つ組織や人材は都市部に偏っており、地方においてはそれらを用いたサービスを提供する基盤が脆弱である。 そこで、AI や XR 技術を用いたサービスを支える基盤を、オンプレミス環境をターゲットとして構築し、AI や XR 技術に気軽に触れられる環境をつくり、それらに関連する技術のノウハウを蓄積する。 また、構築したサービス基盤の活用方法の一例として、AI と XR 技術を組み合わせた、音声対話可能な AI キャラクターエージェントを提供する Web サービスの開発を行った。	阿 部 蓮 佐 藤 心 羽 菅 原 悠 天 田 村 慎 吾	三 浦 彰 人

番号	テ ー マ	概 要	発表学生	指導教員
2	気象庁 GRIB フォーマットに対するサービスの追加と分析基盤の研究開発	一昨年度は気象庁 GRIB2 フォーマットに対して ETL 基盤を作成することにより、気象データを JSON 形式で出力させることができた。 また、昨年度は緯度経度の指定ではなく、地名で気象データを Web ブラウザ上で表示させるアプリケーションを作成した。しかし、気象データの取得から DB への格納までにかかる処理に時間がかかることから、今年度の研究では、JSON ファイルデータ格納の柔軟性を高めるために DB の見直しを含め、パーサーを作成する。これにより、API のレスポンスを短縮して、利便性を向上させることを目指す。	小島 叶多 須佐 凌大 廣瀬凛太郎 三浦 慶大	開沼 和広
3	姿勢推定技術を用いたバレーボール指導支援アプリ開発	少子化や教員の働き方改革の影響を受け、休日の部活動が段階的に地域へ移行される方針が進められている。その中で、地域の指導者は限られた時間やリソースの中で効率的に選手を指導することが求められている。 一方で、選手一人ひとりに対する一貫したフォーム改善の指導やフィードバックの提供は、現場における大きな課題となっている。そこで、姿勢推定技術を用い、選手の動作を解析し、フォームの改善点を視覚的に提示することで、指導者の負担軽減を図るとともに、選手が主体的に技術向上に取り組める環境を提供することを目指した指導支援アプリ開発をおこなった。	小野寺冬馬 菊地 健太 齋藤 菜希 齋藤 洋介 成田 真輝	工藤 智子

令和6年度 ゼミナールのポスターセッション

令和7年2月21日、IT会計ビジネス科のポスターセッション（成果発表）を実施しました。

卒業生全員が本校における学びの集大成として、各自の研究成果や在学中の資格取得に関する取り組みの内容をポスターにまとめ発表を行いました。



令和6年度卒業生の進路の状況

項目 学科名	卒業 者	就職 希望 者	就職 内定 者	地 域 別 内 訳						就職 内定 率 (%)	進学 者
				庄内 地区	村山 地区	最上 地区	置賜 地区	県内 計	県外 計		
生産エンジニアリング科	6	6	6	3	0	1	0	4	2	100	0
情報通信システム科	13	13	13	10	0	0	0	10	3	100	0
IT 会計ビジネス科	13	12	12	10	2	0	0	12	0	100	1
計	32	31	31	23	2	1	0	26	5	100	1

就職先企業・進学先のご紹介（五十音順・敬称略）

生産エンジニアリング科	情報通信システム科	IT 会計ビジネス科
ダイキン工業株式会社 TDK エレクトロニクスファクトリ ーズ株式会社 株式会社牧野フライス製作所 株式会社山形飛鳥 山形航空電子株式会社	株式会社S I G 株式会社管理システム キューブワン情報株式会社 タイコー警備保障株式会社 TDK エレクトロニクスファクトリ ーズ株式会社 株式会社ニシカワ 日本電設工業株式会社 株式会社ハムシステム庄内 PLC パートナース株式会社 フジテック株式会社	社会福祉法人一幸会 庄内たがわ農業協同組合 株式会社大商金山牧場 鶴岡信用金庫 株式会社TBK 東北電機鉄工株式会社 株式会社ニチイ学館 マーレエンジンコンポーネンツジャ パン株式会社 株式会社むつみ 山形県商工会連合会 (進学)資格の学校 TAC 仙台校

受賞に輝く卒業生

令和6年度卒業式が3月19日に行われ、2年間の学業成績が特に優秀だった学生、卒業研究や学習へ取り組む姿勢、日常活動が他の模範となった学生6名が表彰されました。

山形県知事賞	IT会計ビジネス科	佐藤 緑
学 校 長 賞	生産エンジニアリング科	伊藤 佳貴
	情報通信システム科	小島 叶多
教育振興会長賞	生産エンジニアリング科	菅原 亜月
	情報通信システム科	佐藤 心羽
	IT会計ビジネス科	高橋 幸乃



山形県知事賞を受賞する佐藤緑さん

令和8年度入学生募集について

令和8年度入学生を募集しています。

ものづくり、プログラミング、企業会計等に興味のある方への周知協力をお願い致します。

1 募集科・募集定員

○生産エンジニアリング科 … 20名

○情報通信システム科 … 20名

○IT会計ビジネス科 … 20名

情報技術者実践コース（実践コース）
情報技術者基礎コース（基礎コース）

2 入学試験日程

区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
・推薦入学試験 ・社会人特別入試（第1期）	10月 6日(月) ～ 11月 4日(火)	11月 8日(土)	11月 13日(木)	11月 17日(月) ～ 12月 1日(月)
・一般入学試験（前期） ・社会人特別入試（第2期）	11月 10日(月) ～ 11月 25日(火)	11月 29日(土)	12月 4日(木)	12月 8日(月) ～ 12月 22日(月)
・一般入学試験（中期） ・社会人特別入試（第3期）	12月 1日(月) ～ 1月 26日(月)	1月 31日(土)	2月 5日(木)	2月 9日(月) ～ 2月 24日(火)
・一般入学試験（後期） ・社会人特別入試（第4期）	2月 2日(月) ～ 3月 17日(火)	3月 23日(月)	3月 25日(水)	3月 25日(水) ～ 3月 30日(月) ^{※1}

※1 入学手続期間は、3月30日(月)12時まで

3 募集区分と試験科目

凡例：「数学Ⅰ／面接」（学科試験科目が数学Ⅰで、面接がある）

		生産エンジニアリング科	情報通信システム科		IT会計ビジネス科
			実践コース ^{※1}	基礎コース	
推薦	一般	数学Ⅰ ^{※2} ／面接	－／面接	数学Ⅰ／面接	作文／面接
	指定校	－／面接	－／面接		－／面接
一般	前期	数学Ⅰ／面接	数学Ⅰ／面接	数学Ⅰ／面接	小論文／面接
	中期				
	後期				
社会人特別		数学Ⅰ／面接			－／面接

※1 ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験のいずれかの合格者

※2 技能検定（3級以上）合格者は、数学Ⅰの試験免除制度あり

4 卒業後に編入学が可能な学校

（1）山形大学工学部3年次（令和7年度入学～）

（2）職業能力開発大学校応用課程

注 いずれも対象学科は、生産エンジニアリング科、情報通信システム科

「産技短庄内校への応援メッセージ」寄稿のお願い

本校では、企業の皆様からの学校・学生を応援するメッセージ（貴社の概要と本校卒業生の活躍、貴社に入社して活躍してくれることを期待する等）を募集しております。

頂戴しましたメッセージは、本校学生の就活講座や就職情報コーナーで情報提供するほか、高校生及びその保護者等にも発信し、本校及び貴社の効果的なPRに活用したいと存じます。

ご賛同いただける場合は、本校ホームページ「企業の皆様へ」のバナーから様式を入手いただくか、教務学生課へお問い合わせをお願い致します。



本校 HP「企業の皆様へ」

教 員



准教授【情報通信システム科】 佐藤 啓一

山形校から赴任しました。現在はデータ工学の分野を主軸とした研究や講義の指導を行っています。その中でも山形県を訪れる旅行客の動態分析手法の検討に力を入れており、行動しやすい経路や滞在場所等の回遊パターンを見つけ出し、本県の観光事業に役立てることを目的として研究を進めております。庄内校への赴任を機に、分析手法を用いたデジタルコンテンツやシステムとしての確立等の研究開発を行えたらと思います。



主任講師【情報通信システム科】 逸見 健太

この4月に情報通信システム科へ着任いたしました。専門は無線ネットワークで、授業ではJavaプログラミング、IoTやクラウドの実習を担当しております。最近は生成AIの教育活用にも力を入れており、社会の最新動向を反映させた授業を展開していきたいと考えております。学生の皆様には「この学校で学んで良かった」、企業の皆様には「貴校の卒業生を採用して良かった」と思ってもらえる人材の育成に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



主任講師【IT 会計ビジネス科】 藤田 納

IT 会計ビジネス科で経営学関連を担当させていただくことになりました、藤田納と申します。これまでの実務会計や経営相談などの経験を活かし、地元産業界で活躍できる人材育成のための学習環境を提供できるよう努めてまいります。授業では、学生の皆さんへ将来やキャリア目標に役立つ知識をお伝えすると同時に、ともに学び、成長していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

事 務 局



副校長（兼）事務局長 高橋 昌之

この4月に、隣接する庄内職業能力開発センターから異動してまいりました。出身は酒田市です。地域の未来を支える実践の技術者やビジネスパーソンを地元産業界に送り出すことや、本校が持つ人材・設備により様々な機会を捉えて地域に貢献することが、本校の重要な役割と考えております。教育振興会の会員の皆様からの御支援もいただきながら、この役割を果たすために精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務課長 加賀 智博

今年4月に総務課長として着任いたしました。教育振興会の事務局も担当しており、会員企業の皆様には大変お世話になっております。

学生の皆さんが、それぞれの夢に向かって専門的な技術をしっかり学べるよう、庄内校での教育環境づくりに、微力ながら力を尽くしていきたいと考えております。地元企業で活躍する技術者の育成につながるよう、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



教務厚生推進員 宮越 麻里

8月より、教務学生課で、教務厚生推進員としてお世話になっております。

学生の皆さんの学校生活が実りあるものとなるよう、業務に取り組んでいきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。

編 集 後 記

近年、AI 技術の進化は目覚ましく、さまざまな分野で実用化が進み、私たちの暮らしの中でも身近に感じられるようになりました。庄内校では、デジタル技術をはじめとする、多彩で実践的な内容の社会人向け公開講座を毎年開催しております。人材育成やスキルアップの機会として、ぜひご活用ください。

編 集 発 行



山形県立産業技術短期大学校庄内校教育振興会
〒998-0102

山形県酒田市京田三丁目57番4号

TEL0234-31-2300・FAX0234-31-2770